様式１－３（統一栽培暦様式）

もっと安心農産物 レタス（秋どり）栽培暦（令和8年度）

JAちばみどり　海上野菜組合産直部

１．土づくり

・完熟堆肥2トン／10aを施用するか、エン麦・ギニアグラス・ハブソウを輪作体系として作付けする

２．施肥　☆施肥診断にもとづく施肥量の遵守　**化学肥料窒素成分使用量10kg／10a以下**

	肥料名	施肥量
基肥	①ちばみどり有機888（8－8－8　有機態窒素　1.2）	140kg／10a以下
	②マイルドユーキ030号（10-13-10　有機態窒素　5.3）	200kg／10a以下
	苦土石灰	60kg／10a

３．防除　**化学合成農薬　7成分回数まで（苗購入の場合5成分回数まで）**

（Zボルドー・カスミンボルドー・ジーファイン水和剤・エスマルクDF・ゼンターリ顆粒水和剤・スピノエース顆粒水和剤は化学合成農薬に含めない）

月	管理作業	病害虫の発生推移	薬剤名	希釈　倍数・処理量	回数	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施
8月上旬		（ハスモンヨトウ・オオタバコガ）（アブラムシ）					害虫防除の為、育苗床は寒冷紗で被覆をする
中旬	は種						アブラムシ防除の為、圃場周辺の雑草を除去する
下旬	定植						
9月上旬			Zボルドー	500～800倍	―	腐敗病	
中旬			ジーファイン水和剤	1000倍（収穫前日）	―	腐敗病	
			①ダントツ水溶剤	2000～4000倍（収穫前日）	2回	アブラムシ類	
下旬				2000倍（収穫前日）		アザミウマ類 ナモグリバエ	ハスモンヨトウは若齢期の内に防除を実施する
10月上旬			②アファーム乳剤	1000～2000倍（収穫3日前）	3回	ハスモンヨトウ オオタバコガ	
			③フェニックス顆粒水和剤	2000～4000倍（収穫前日）	2回		
中旬			エスマルクDF	1000倍 発生初期（但し、収穫前日まで）	―	ヨトウムシ オオタバコガ	
			ゼンターリ顆粒水和剤	1000～2000倍 発生初期（但し、収穫前日まで）	―	ヨトウムシ	
				1000倍 発生初期（但し、収穫前日まで）	―	オオタバコガ	
下旬			カスミンボルドー	1000倍（収穫7日前）	4回	腐敗病	オオタバコガの発生が多い場合は、スピノエース顆粒水和剤2500～5000倍（収穫3日前・3回）を散布する
11月上旬			④コルト顆粒水和剤	3000～4000倍（収穫前日）	3回	アブラムシ類	
中旬			⑤ウララDF 又は モスピラン顆粒水溶剤	2000倍（収穫前日）	2回	アブラムシ類	
				2000～4000倍（収穫前日）	3回	アブラムシ類 ナモグリバエ	

☆みんなで守ろう生産基準